

予稿集目次

一般発表

(1) 日本における大気中ダイオキシン類濃度の推移と
国際比較—今後の適正監視の方向性を視野に—

○池田こみち（環境総合研究所）

P. 1

(2) 廃プラ焼却問題 誤報とサーマルリサイクルの問題点

○青木泰・中島大介（ごみ問題5市連絡会）

P. 6

(3) 廃棄陶磁器のリサイクル「Re 瀬戸」

○加藤昭博・加藤高福（丸石窯業原料株式会社）、
小嶋春夫（小嶋自動制御機工業所株式会社）、
鶴浦真紗子（日本国際博覧会協会環境マネジメント・プロデューサー）、青木泰（ごみ問題5市連絡会）

P. 9

(4) 容器包装リサイクル法改正運動への実践的提案

○川井満・坪井照子・青木泰・中島大介（ごみ問題5市連絡会）

P. 14

(5) アジア地域におけるアスベスト使用と日本企業の
海外進出

○村山武彦（早稲田大学理工学部）

P. 18

(6) 行政事件訴訟法改正に際しての課題—環境 NPO
からの政策提言

○青山貞一（環境行政改革フォーラム代表幹事、
武蔵工業大学教授）

P. 22

(7) 国会における「質問制度」の意義

○田中信一郎（前参議院議員政策秘書）

P. 26

(8) 里山保全の法制度と展望

○南真二（奈良県立大学）

P. 30

(9) 報告・浜岡原発停止へ向けての活動

○川井満（ごみ問題5市連絡会）

P. 34

(10) 自動車大気汚染における現況再現シミュレーションの重要性—道路事業の環境影響評価等を事例として—

○鷹取敦（環境総合研究所）

P. 40

(11) いまなぜ河川法再改正か

○まさのあつこ（ジャーナリスト）

P. 44

(12) 水害復旧を専門としたボランティアの活用

○岩下竜（神戸大学大学院国際協力研究科）

P. 48

(13) 地球観測衛星を利用した海洋環境モニタリング
システムの現状と課題

○山下大高（中学2年生）

P. 52

(14) 諫早湾干拓工事中止を契機に、市民による新たな展開を

○大島弘三（諫早干拓緊急救済本部）

P. 55